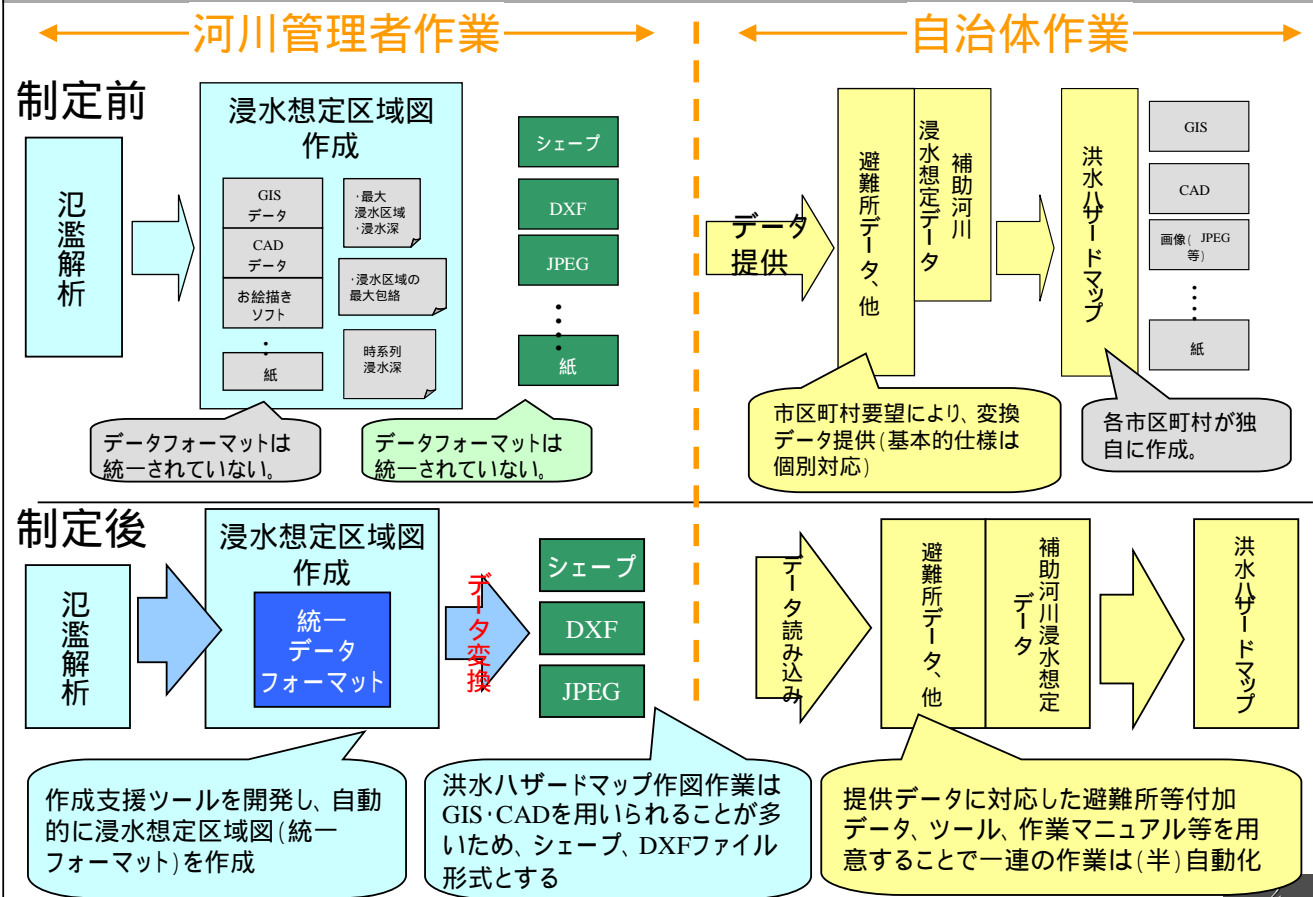


河川局における地名辞典の整備状況

2008.12.16

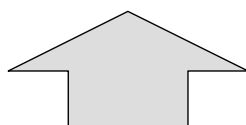
河川局河川計画課
企画専門官 安原 達

浸水想定区域図データ電子化ガイドラインの制定前後の比較



現在整備済み又は整備中の地名辞典は3種類

- 河川中心線データ
 - 河川の任意の区間の河川名、管理者名などの属性を 付与
- 流域界
 - 一級水系、小流域、観測所上流域
- 河川距離標
 - 左右岸

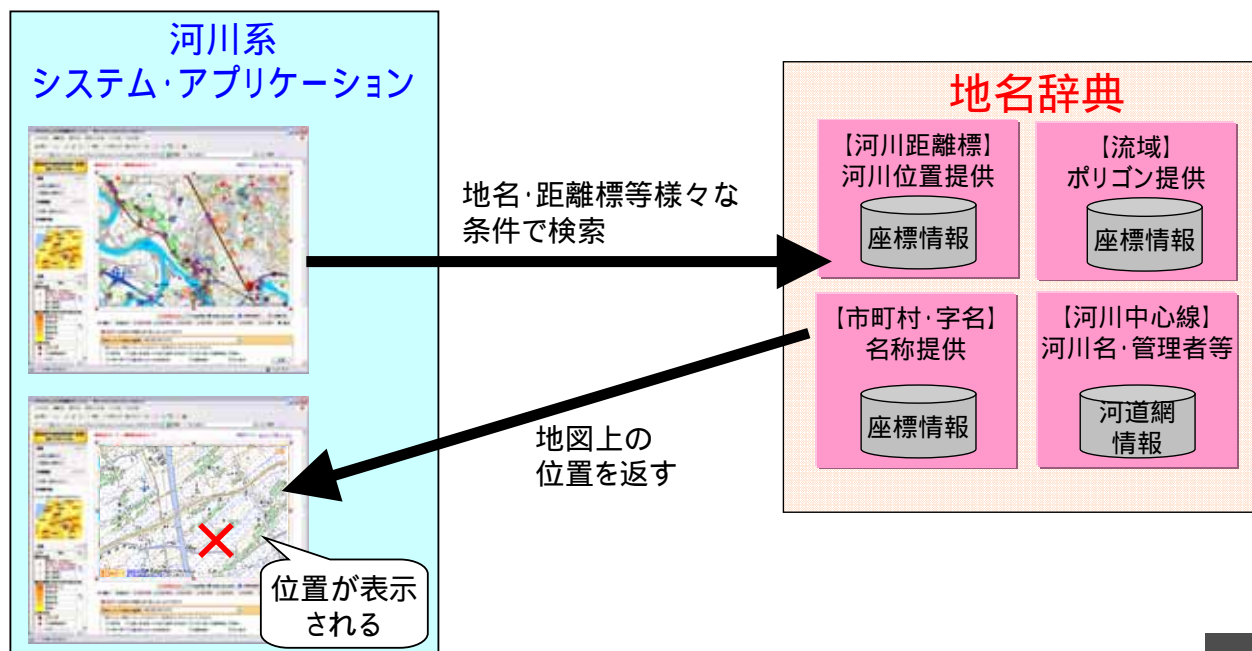


都道府県、市町村、字などの行政区画情報とリンク

3

地名辞典とは

地名辞典とは、河川の基本情報の標準化したもので、様々なアプリケーションからの問い合わせに対して、地図上の位置を返すデータベース群の総称

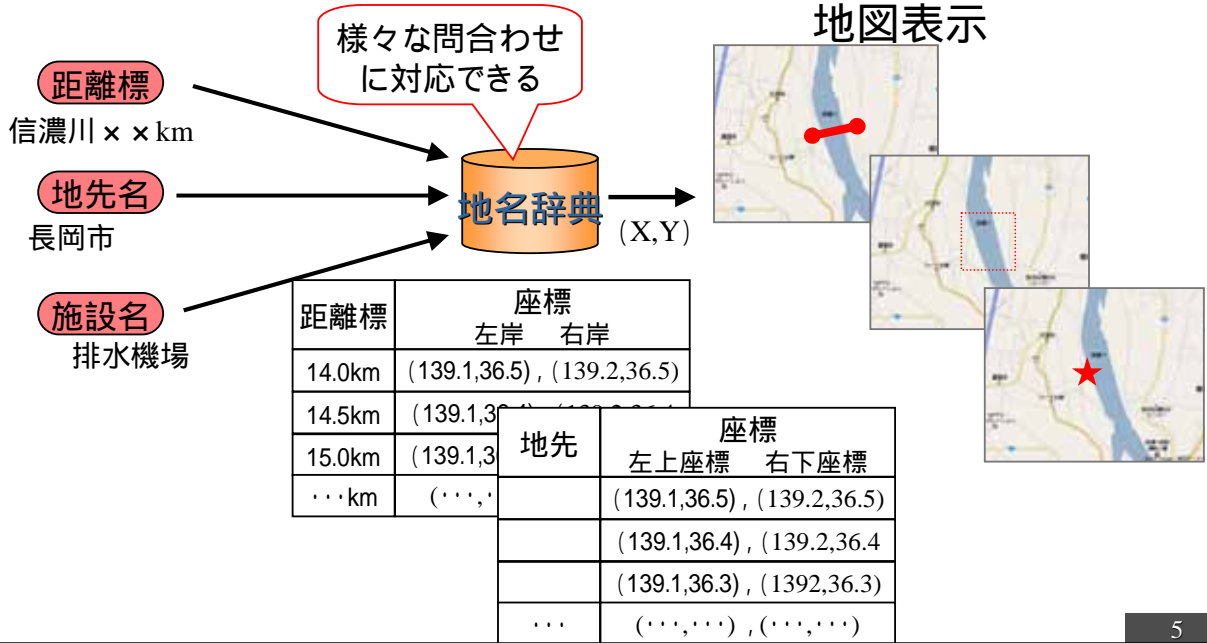


4

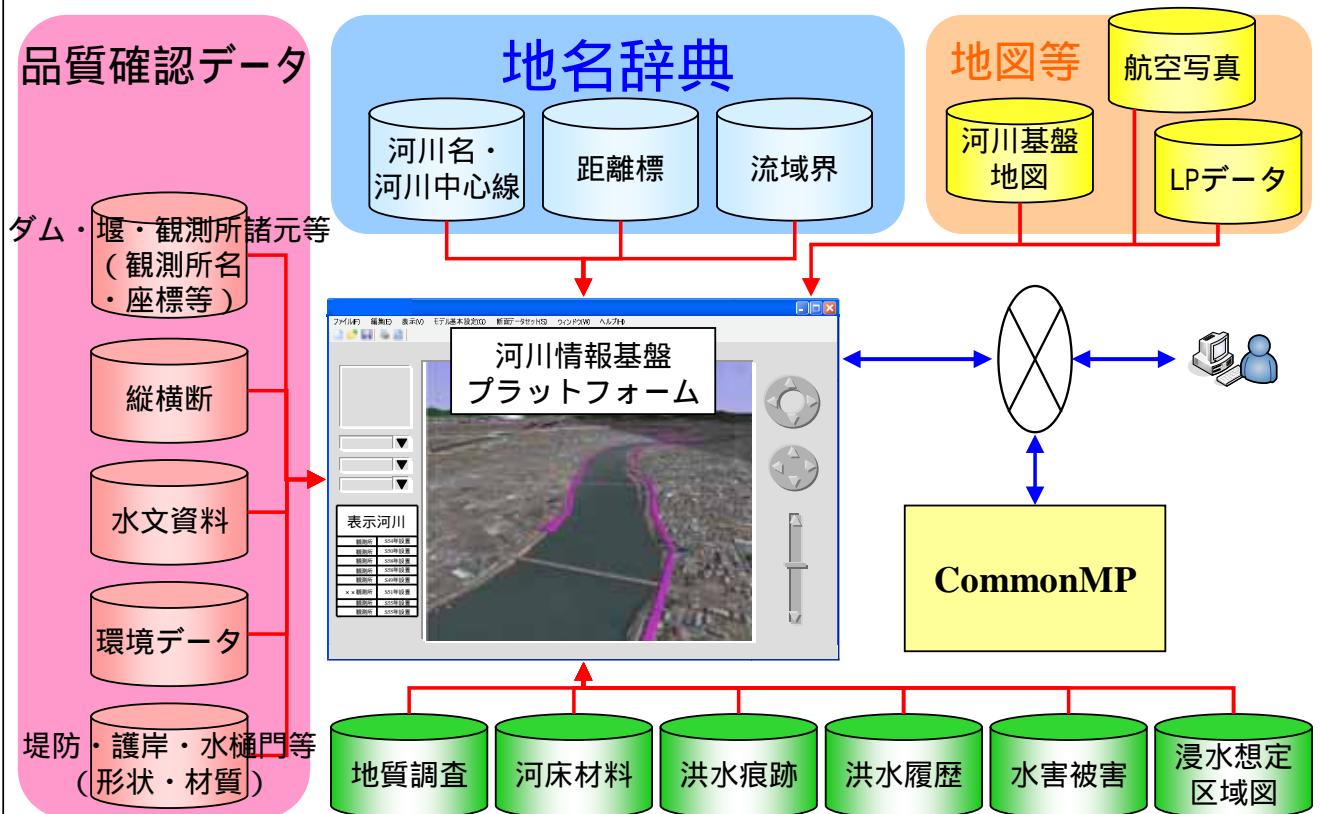
2

地名辞典利用の具体例

- 災害発生時や住民からの情報提供等の位置確認(地図表示)で利用
 - 住所検索、目標物検索、距離標検索、施設名検索による地図の表示



水情報国土の中での地名辞典の役割



河川中心線データ

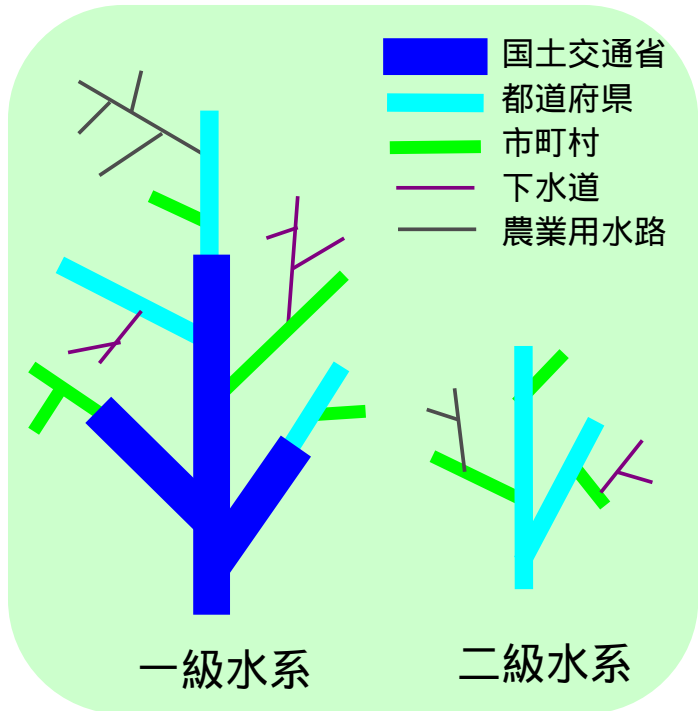
河川、水路は複数の主体により管理



流域全体を網羅した河川ネットワーク網は整備されていなかった

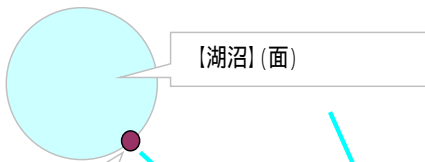
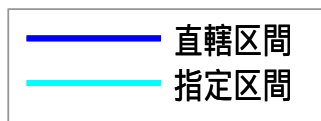


河川局はデータ構造の標準化を行った河川中心線データ作成ガイドラインを作成し、一級河川のデータを作成済み



河川中心線データのデータ構造

■ 地物と属性の関係



● [ダム・水門・堰] (点・面)

● [上流端] (点)
・地先名
・公示番号

● [分合流] (点)
・左右岸区分
・流入
・流出

[水路] (線)
・地先名
・公示番号

○ [下流端] (点)
・地先名
・公示番号

全ての地物に共通して付与される属性

[作成方法]
・資料名
・作成理由
・作成者
・作成方法

[水路網地物]
・設置期間
・データ有効期間
・作成方法
・データ確認状況

河川流域界データ

■ 流域界データには、三種類が存在する

□ 水系界データ

➢ 水系の一番外枠

□ 水位観測所上流域データ

➢ 各水位観測所の集水域で分割する

➢ 重複する部分がある

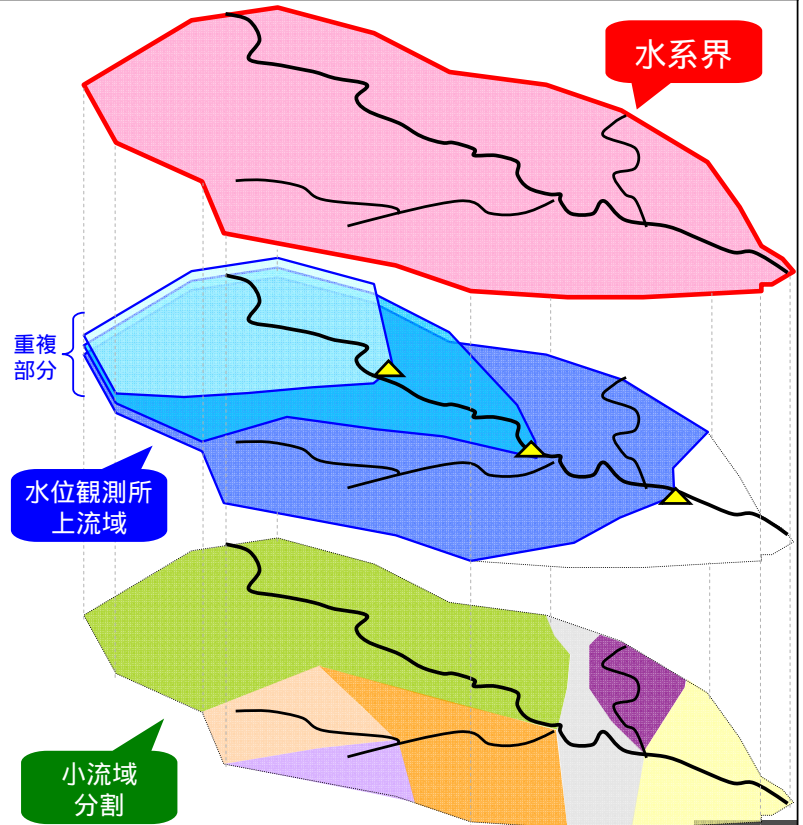
□ 小流域分割データ

➢ 分合流点ごとに流域を分割

➢ 重複する部分はない



統一的なデータ作成規定
を今後検討



9

河川距離標データ

■ H20年度、直轄管理区間の距離標平面位置座標データを収集

□ データベースを構築し、データ格納を行うべく作業中

10

5